



越前市との人事交流について

1 経緯・趣旨

本市では昨年、開町400年記念事業及び万葉集全20巻朗唱会20周年記念事業の一環として「大伴家持下向(来越)の旅」を実施したが、その際に訪れた越前市から、相互交流の提案があったものである。

越前市と本市は、共に奈良時代に「越前国」「越中国」と越の国の国府がおかれた地であり、万葉の故地である。共に、「歴史と文化」、「古い町並み」、伝統産業の匠の技と最先端技術による製造業等の「ものづくり」をまちづくりに生かし、また、このような市の特色を観光に活用すべく様々な工夫を凝らしている共通点がある。

本市では、「歴史と文化を生かしたにぎわいづくり」「伝統の技と心に支えられた産業のまちづくり」などを柱におき、今後は、市民のエネルギーをまちづくりに結集させていきたいと考えている。このことに関して、越前市のまちなか観光を企画運営する事業、市民事業のサポートやネットワーク、情報発信に関する事業などへの取り組みは、今後の本市の参考になるものとする。

両市が互いの特色あるまちづくりを学び合い、これまで取り組んできた行政のノウハウを相互に活用するなど、また、将来に向けて万葉などでも市民間の交流が一層深まっていければとの思いもあり、このたび、交流のまず一歩として、越前市との「相互派遣研修」による人事交流を行うこととしたものである。

2 派遣研修者・派遣研修期間

- (1) 対象者：30歳～40歳前半の中堅職員（男女を問わず） 1名（現在選考中）
- (2) 派遣期間：2年間（平成22年4月1日～平成24年3月31日）

参考

越前市の概要

人口 85,834人(H21.12.1)、 面積 230.75平方キロメートル

職員数 657人(H21.4.1)

H17.10.1、旧武生市と旧今立町が合併し、越前市となる。

国府と文化と匠の技、日野に山川に育まれ
ひとづくり、ものづくり、まちづくりの活力みなぎる
元気な自立都市 越前

? 古の歴史と文化が息づく、自然に恵まれた町

・約 1300 年前、旧武生市に当時の「越前国」の国府がおかれた。

(大伴家持が武生にゆかりのある歌を数多く詠んでいる。)

(万葉口マンの推進「越前の里・味真野苑」(あじまの万葉まつり(S58~)開催))

・紫式部ゆかりの地 「紫式部公園」

? 伝統と匠の技

・越前和紙(国指定伝統工芸品)、越前打刃物(国指定伝統工芸品)、越前指物

? 元気な産業

・電子・自動車・家電部品産業、ニッパル産業(製造品出荷額 福井県内一)

(「越前市産業活性化プラン(ものづくり編)」を策定し、ものづくり・技術を中心とした産業活性化の施策を推進している)

? 古い街並み

・歴史的遺産を継承し、古い町並みや建物を活かしたまちづくり

白壁の蔵が立ち並ぶ「蔵の辻」、古い町並みを生かした「京町」

・文化財の保有数が福井県内一

・中心市街地活性化の推進目的に「越前市まちづくりセンター」を設置(H19.8.1)

(福井大学との連携「町家改修作業」・仁愛大学との連携「越前ぶらりツアー」「福井鉄道感謝祭」)

? 受け継がれる伝統・こころ揺さぶる魂

・「越前打刃物 古式鍛練」・「越前万歳」・「蓬莱祀」・「ごぼう講」・「神と紙のまつり」

・「たけふ菊人形」・「獅子返し」